

# 学校行事参加型+在宅取組型+講演会型(中学校)

別紙様式 I

学校名等	山県市立高富中学校
実施日時	令和4年12月24日~令和5年1月9日の任意の日・1月18日
会場	各家庭・山県市立高富中学校会議室
参加人数	全校生徒(403名)・保護者
学習課題(分野)	命の大切さ「防災研修」
運営者の願い	生徒が学校で行っている「命を守る訓練」を受け、家庭でも災害発生時の避難行動や災害への備えについて話し合うことが大切であり、そのことが家族の「絆」を一層強めることになると考えた。 県で推進している「話そう!語ろう!わが家の約束」運動と絡め、冬休みに、その場を設けた。

## 学習の内容

### <命を守る訓練> 9月

学校行事「命を守る訓練」として、大地震発生時の避難所で想定される「災害用トイレ・備蓄倉庫・応急処置」についての体験活動を実施。

### <話そう!語ろう!備えよう!わが家の防災会議> 冬休み

○防災会議で決めたことを記録するカードを作成。裏面には、会議を円滑に進めるための補助資料を印刷。

### ○会議で話し合う内容

- ・いざというときの家族役割分担
- ・危険な場所・物のチェック
- ・非常持ち出し品の準備
- ・避難箇所、避難方法の確認
- わが家の避難場所
- 家族が離れ離れになったときの連絡方法
- ・話し合った感想

避難場所:市のHPにて確認

災害用伝言ダイヤル「171」や伝言サービスの活用

あとと便利品のリストアップ

### <防災研修> 1月

東日本大震災後、岐阜県からの派遣教員として宮城県東松島市にある小学校で約1年間勤務された講師の方から、被災後の現地の様子や避難所となった学校の様子などのお話を聞き、避難所における児童生徒の役割やその活躍について学ぶ。



### <保護者>

当時の写真やお話を聞き、災害に遭った方々のことを思うと心が痛みました。災害はなくなるので、どうすべきかということ普段から意識して考えていかねばならないと感じました。中学生の息子にも、この研修が自分のものとして考えていってもらえたらと強く感じました。(抜粋)

私の家は、災害危険区域にあるため「有事の際は、ここへ行くんだよ」「防災グッズは、ここに置いてあるよ」と伝えていきます。自分でできること、家庭でできることは、少しでもやるべきと思っています。(抜粋)



学校生活における子どもたちの学びを、家庭教育学級の取組内容に関係づけられようとしているところが素晴らしい。

また、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動ともコラボした形にされている点が斬新である。

**災害直後の備前**  
災害による被害を最小限にとどめるためには、家族が協力して備前から備えていく必要があります。以下の4つを参考に、わが家の状況について確認をしましょう。

**家族の役割分担**  
いざというときの家族の役割を決めましょう。  
 防災の先程を始める人  電気のコンセントやブレーカーを切る人  
 出入口を確保する人  ラジオ・TVなどで情報を確認する人  
 非常持ち出し品を確認する人  火を消す人  けが人の手当をすすめる人 など

**家族の危険箇所チェック**  
 家中にも危険がたくさんあります。チェックしてみましょう。  
 ほかにも、安全に避難するため、倒れやすそうなブロックや木材等、家の周りの確認をしておくようにしましょう。

**非常持ち出し品の準備**  
 避難するときに持っていかねばならないものは準備してありますか?  
 チェック項目のほかに、簡易トイレ、ビニール袋、ビニールシート、タオル、電源タップなど、あると便利なものもあります。この機会に見直しをしてみてください。足りないものは、今のうちに準備しておくようにしましょう。

**避難場所や避難方法の確認**  
 避難場所やそのまでの道順は分かっていますか?  
 近所の避難場所  
 避難所のホームページを検索する手順が分かりますか?  
 避難所が倒壊しやすくなった時の避難方法  
 少し離れた避難所の候補先を決めておき、そこに家族の状況や伝えたい、確認を取る方法もありません。最新の電話番号を確認しておくようにしましょう。  
 防災用伝言ダイヤル「171」や携帯電話の災害時伝言サービスの使用方法を確認しましょう。



家庭での防災会議を済ませた冬休み明けに、日を置かず「防災研修」を実施することで、家族での話し合いが十分であったかを振り返ることができるよう工夫している。

